

いのち
生命の言葉 平成二十九年一月

おほぞらに そびえて見ゆる たかねにも

登ればのぼる 道はありけり

明治天皇

裏面もご覧下さい。

神社は心のふるさと
未来に受け継ごう
「美しい国^{うらわ}ぶり」

いのち
生命の言葉
一月

大空に高くそびえ立っているけわしい峯々
にも、登っていけば、自然と登り得る道はある
ものです。只必要なのは、頂上を究めなければ
止まない勇氣と努力です。
昔は不可能と思われたヒマラヤ、アルプス等の
頂上も、勇氣とたゆまぬ努力によって、見事に
登る道ができました。人生の行路も同様です。

『明治天皇御製 教育勅語 謹解』

明治天皇 (めいじてんのう)

嘉永五年(一八五二)～明治四十五年(一九二二)。
第百二十二代天皇。近代日本の指導者として、立憲
政治の確立、産業の発展、国民教育の普及・文化の
向上等に尽くされ、新しい日本の姿を示された。
また、和歌を好まれ、九万三千首の御製をお詠みに
なられた。

今月の祝日

【元日(一日)】年のはじめを祝う大切な日。

【成人の日(九日)】満二十歳を迎え、国や社会の為に役立とうとする青年を祝います日。

東京都神社庁

<http://www.tokyo-jinjacho.or.jp/>

